

※今月のみ受注の書目です。

日本思想

橋川文三の政治思想

三島由紀夫・丸山眞男・柳田国男との思想的交錯

(2024 年 3 月中旬刊行予定)

須藤健一 [著]

A5 判上製 / 384 頁 税込予価 4,620 円 ISBN978-4-7664-2949-7 C3010

ココに注目!

- ・「いま読まれるべき思想家」として再評価が進む橋川文三。
- ・三島由紀夫・丸山眞男・柳田国男の著作の探究を通じて、その思想の全体像を明らかにする。

『日本浪漫派批判序説』をはじめとする優れた業績で知られながらも、師の丸山眞男の影に隠れ、必ずしも正当な評価を受けてこなかった橋川文三。先駆的なナショナリズム論やファシズム分析を発表するなど、現代日本の社会的状況への視座を先取りしていたことから、近年再評価が進んでいる。三島由紀夫・丸山眞男・柳田国男の思想に惹かれつつもその課題を乗り越えようとした戦後の思想家・橋川文三の思想とその葛藤を、豊富な一次資料を使いながら論じた本格的な論考。

対象 日本戦後思想に関心のある研究者、一般読者

類書 杉田俊介『橋川文三とその浪漫』(河出書房新社)



ご注文は FAX で! 03 - 3451 - 3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所: 慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			須藤健一 著 橋川文三の政治思想 一三島由紀夫・丸山眞男・柳田国男との思想的交錯 ISBN978-4-7664-2949-7 C3010		

★1つで「500部」を表します



主要目次を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【主要目次】

序章 橋川文三研究の歴史と現在

- 第一節 『日本浪漫派批判序説』の作者としての通説的評価
- 第二節 賛否両論の評価：丸山対三島
- 第三節 分析視角としての三島・丸山・柳田

第一章 三島由紀夫との論争と共感

- 第一節 三島の橋川評
- 第二節 共感——主として古典主義者三島に対して
- 第三節 論争——「文化防衛論」批判
- 第四節 止揚——三島の自裁と橋川における突破の思想の克服

第二章 丸山政治学との緊張的關係・批判的対決

- 第一節 丸山の橋川評
- 第二節 自己批判および丸山政治学への懐疑としての『日本浪漫派批判序説』
- 第三節 「昭和超国家主義の諸相」での明示的対決
- 第四節 丸山の「政治」と橋川の「政治」——近代的政治概念の再検討

第三章 柳田民俗学へのまなざし——日本における保守主義の模索

- 第一節 柳田の伝記研究
- 第二節 柳田の地方改良運動批判をめぐって——日本近代批判の諸相
- 第三節 柳田の保守主義研究——日本における保守主義の模索

終章 中間者の眼、あるいは突破の思想と保守の思想の両義性

- 第一節 突破の思想から近代の思想、理性の思想へ——日本浪漫派の克服と丸山政治学への懐疑
 - 第二節 近代の思想、理性の思想から保守の思想へ——丸山政治学への明示的批判と保守思想の受容
 - 第三節 突破の思想への共感——両義的たらざるを得なかった孤立者
- おわりに 突破の思想と保守の思想の両義性